

寒グロ釣りの準備は出来てますか？

野間 辰美

下甌島瀬々野浦の寒グロプレシーズン！

よく質問で、『寒グロはいつ頃？』と聞かれますが、鹿児島エリア（南薩・大隅・甌島）ではだいたい水温が20度程から下回り始める頃で、クリスマス前の12月20日前後くらいから釣れるクロを寒グロと呼び始めるようです。具体的にいつからというのにはありませんが、クロの脂がぶらぶら始める頃、『寒グロ』と呼んでいいかと思っています。

しかし、この寒グロを釣りたければきっちり準備運動をしておく必要があります。

①潮の見方。
②マキエをきっちり使いこなしてエサ盗り対策が出来るか。
③仕掛けはその時の一番いい仕掛けが作れるか。

などなどを常に考えて釣りを今からやっておくと寒グロの準備運動が出来ると思います。

そこで今回、寒グロの動向を探るべく、私の好きな甌島列島の下甌島・瀬々野浦エリアに渡ってくる永福丸さんで11月10日(日)に出



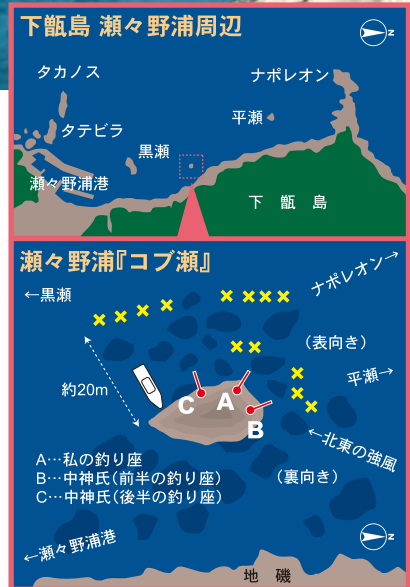
私の釣り座。足場は狭く傾斜しているがアタリは多い



瀬の裏側は浅く、一帯にはゴロタがびっしり



釣り座右手には有名な奇岩『ナポレオン』を望む



掛けて来ました。

瀬々野浦『コブ瀬』へ

今回乗礁したのは、瀬々野浦港の目の前にある『コブ瀬』。初めての釣り場です。初めての磯は嬉しくて、まずは瀬の周りかどのようになっているか全てチェックします。表向き、裏向きともに大きなゴロタ石がビッシリ入っており、水深もさほどなく、いかにもクロが居着いていそうな雰囲気です。

唯一、今回竿出しポイントに選んだ所が少しだけ深いかないというくらいで、恐らく5〜7m程で、根掛かりしそうな感じ。表向きの沖

今回のマキエ

今回用意したマキエは、竿出し時間が6時間程なので、オキアミ生3*2角とマルキューの配合エサ、グレパワーV9SPと新製品の沖撃ちスペシャルを各1袋を準備し2回に分けて使います。

この沖撃ちスペシャルですが、遠投性能と濁りが素早く拡散し、先打ちマキエにかなり効果的です。

実釣スタート！

今回の潮は、満潮が朝6時半程なので、少しゆっくりにスタートするようにしました。

暗い内から釣りをして途中で潮が変わるより、潮止まりくらいからマキエを入れ、潮が動き出すタイミングでクロの活性を上げるようにマキエを少量ずつ入れ続けると、次から次にクロがゴロタ石のフレから出て来ます。他のエサ盗りはいるのですが気にならない感じ、それよりも圧倒的にクロの数が多いみたいです。サイズは30センチくらい。恐らく渡りのクロ(口太)が入って来ているようです。

結果から言うと、朝からほぼ入れ喰い状態に近い感じで釣れ続けました(使用した仕掛けは仕掛け上図を参照して下さい)。

今回の要点

- ①1匹釣ったら必ずマキエを1杯入れてから魚の血抜きなどの処理をする。そして処理が終わって釣り座に帰ると、すぐに1杯入れてから次の動作に入る(タナ・ハリ・ハリス交換など)。マキエを切らさないようにするのが重要。
- ②朝のうちは、まず足元(釣り座から2mくらい)にマキエ・仕掛けを入れて足元のクロを釣って行く。いきなり遠投して無闇に魚を沖にやらないこと
- ③朝一は、どんな仕掛けでも喰つ

今回の使用仕掛け

ロッド:がま磯 マスターモデル口太II MH5.3m
リール:ダイワ トーナメントZ2500LBD
道糸:サンラインブラックストリーム マークX 1.75号

(喰いが落ちてクロが見えなくなつてからの仕掛け)

※全遊動
ウキ:釣研セクト(M-0α)
フカセからまん棒(イエロー)
サルカン

ハリス:サンラインブラックストリーム 1.75号2ヒロ ※ガン玉なし

ハリ:競技くわせ5号(メイン) オキアミカラー

(前半の仕掛け)

ウキ止め 半円シモリ
ウキ:釣研セクト(M-G3)
ウキクッションTタイプ G3
極小サルカン

ハリス:サンラインブラックストリーム 1.75号2ヒロ ※ガン玉なし

ハリ:競技くわせ5号(メイン) オキアミカラー



愛用のウキは色んな状況に対応出来るセクト(釣研)



愛用のライン類。サンラインのハリス、マスタードとハリスはブラックストリーム(黒潮カラー)



今回使用した配合エサ。グレパワーV9SPと沖撃ちスペシャル(ともにマルキュー)



沖撃ちスペシャルは濁りが素早く拡散し、先打ちマキエとしてかなり効果的だ！